

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る



福証IRフェア 会社説明資料

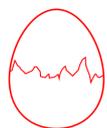


イフジ産業株式会社

Liquid egg / Frozen egg / Egg White Protein



東証一部上場



会 社 概 要

■ 会社名

イフジ産業株式会社

■ 事業内容

鶏卵関連事業 (液卵・冷凍卵等の製造・販売、プロテインの販売)

調味料関連事業 (業務用粉末・顆粒調味料等の製造・販売)

その他 (太陽光発電事業)

■ 設立

1972年(昭和47年)10月

■ 本社所在地

福岡県糟屋郡粕屋町戸原東2-1-29

■ 従業員数

487名(イフジ産業432名、日本化工食品55名) ※臨時従業員326名を含む

■ 代表取締役

藤井 宗徳

■ 資本金

455百万円

■ 発行済株式数

8,345,370株(内、自己株式133,506株)

■ 単元株式数

100株

■ 上場取引所

東京証券取引所 市場第一部

福岡証券取引所 本則市場

■ 証券コード

2924

■ グループ会社

日本化工食品株式会社

※2021年9月末現在

経営理念





養鶏場

※画像はイメージ



製菓・製パンメーカー
マヨネーズメーカー
惣菜メーカー など

※画像はイメージ



■液卵とは

鶏卵を割って中身を取り出したものです。当社では様々な方法による殺菌処理や、卵黄・卵白の分離を行った製品を主力としています。さらには、お客様の用途に合わせて製菓特性や調理特性を持たせる加工を行っています。



■液卵を使用する5つのメリット

1.作業効率アップ

割卵の手間が省けて衛生的

2.品質の安定化

製品の均一化を図ることができる

3.経済性

原料費の安定

4.貯蔵性

凍結により長期保存が可能

5.作業環境

保管と輸送の効率化・二次汚染の防止

■液卵・冷凍卵の種類・用途

品 種	種 別	殺菌有無	冷蔵・冷凍	主 な 用 途
全 卵	ホール	未殺菌	冷蔵	どら焼き・カステラ・厚焼き玉子
	全卵	殺菌・未殺菌	冷蔵・冷凍	洋菓子・和菓子・パン・厚焼き玉子
	加糖全卵	殺菌	冷蔵・冷凍	洋菓子・パン
	加工全卵	殺菌	冷蔵・冷凍	ビスケット・クッキー・パン
卵 黄	卵黄	殺菌・未殺菌	冷蔵	アイス・カスタード
	加糖卵黄	殺菌	冷凍	アイス・カスタード
	加塩卵黄	殺菌	冷凍	マヨネーズ・ドレッシング
卵 白	卵白	殺菌・未殺菌	冷蔵・冷凍	練り製品・洋菓子・和菓子
	製菓用卵白	殺菌・未殺菌	冷凍	洋菓子・和菓子
冷凍食品	茶わん蒸しベース	殺菌	冷凍	茶わん蒸し・出汁巻き玉子

製造
Process

三位一体の安定供給体制
「サステナブル・サプライ」

購買
Purchase

流通
Logistic

大消費地に隣接したお客様重視の工場立地は市場開拓の大きなアドバンテージ。

関東事業部（茨城県・水戸市）



販売数量
約24,795 t
太陽光発電量
28.7万kWh

関西事業部（京都府・井手町）



販売数量
約12,813 t
太陽光発電量
30.4万kWh

日本化工食品 千葉工場（千葉県・市原市）



太陽光発電量
2.7万kWh

名古屋事業部（愛知県・安城市）



販売数量
約7,735 t

福岡事業部（福岡県・粕屋町）

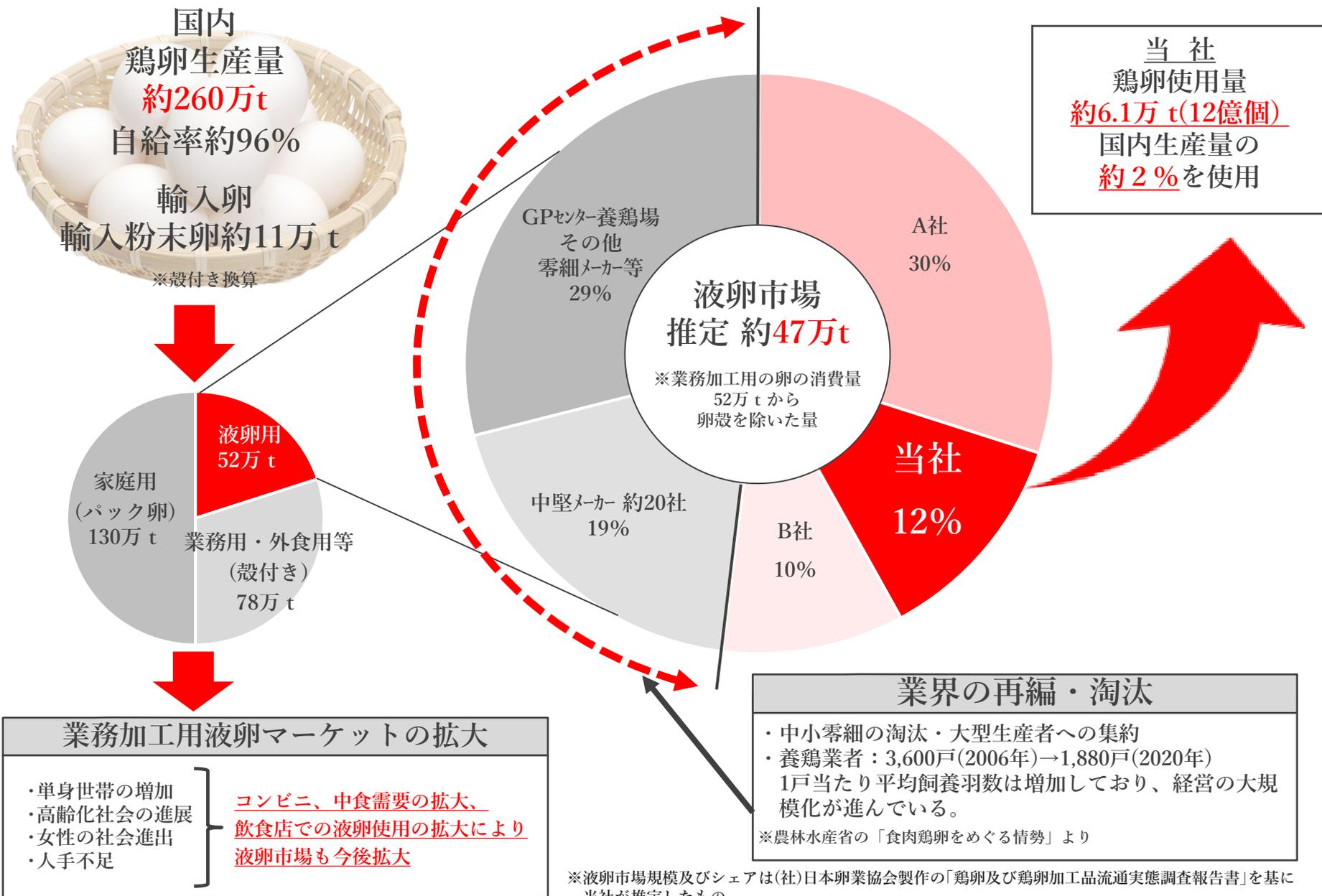


販売数量
約10,945 t

2021年3月期都道府県別販売実績
(イフジ産業単体)

2021年3月期	
500百万円以上	■
100百万円以上	■
50百万円以上	■
10百万円以上	■
3百万円以上	■
0百万円以上	■
0百万円未満	■

※販売数量(イフジ産業単体)、発電量は2021年3月期実績による



STEP2
事業領域拡大

STEP1
営業・購買・製造の3つの柱による
サステナブル・サプライの強化

競争力強化

国内においても
持続的に成長可能

事業領域拡大

- ・ プロテイン事業拡大
 - ・ 卵殻、卵殻膜の活用
 - ・ M&A
- (業界の再編 同業他社)

管理強化

- ・ RPA、AI、IoT等の活用
- ・ 働きやすさへの取り組み
- ・ 人財育成

営業強化

- ・ 市場シェアの拡大
- ・ 付加価値の高い製品の販売強化
- ・ 食のインフラの構築

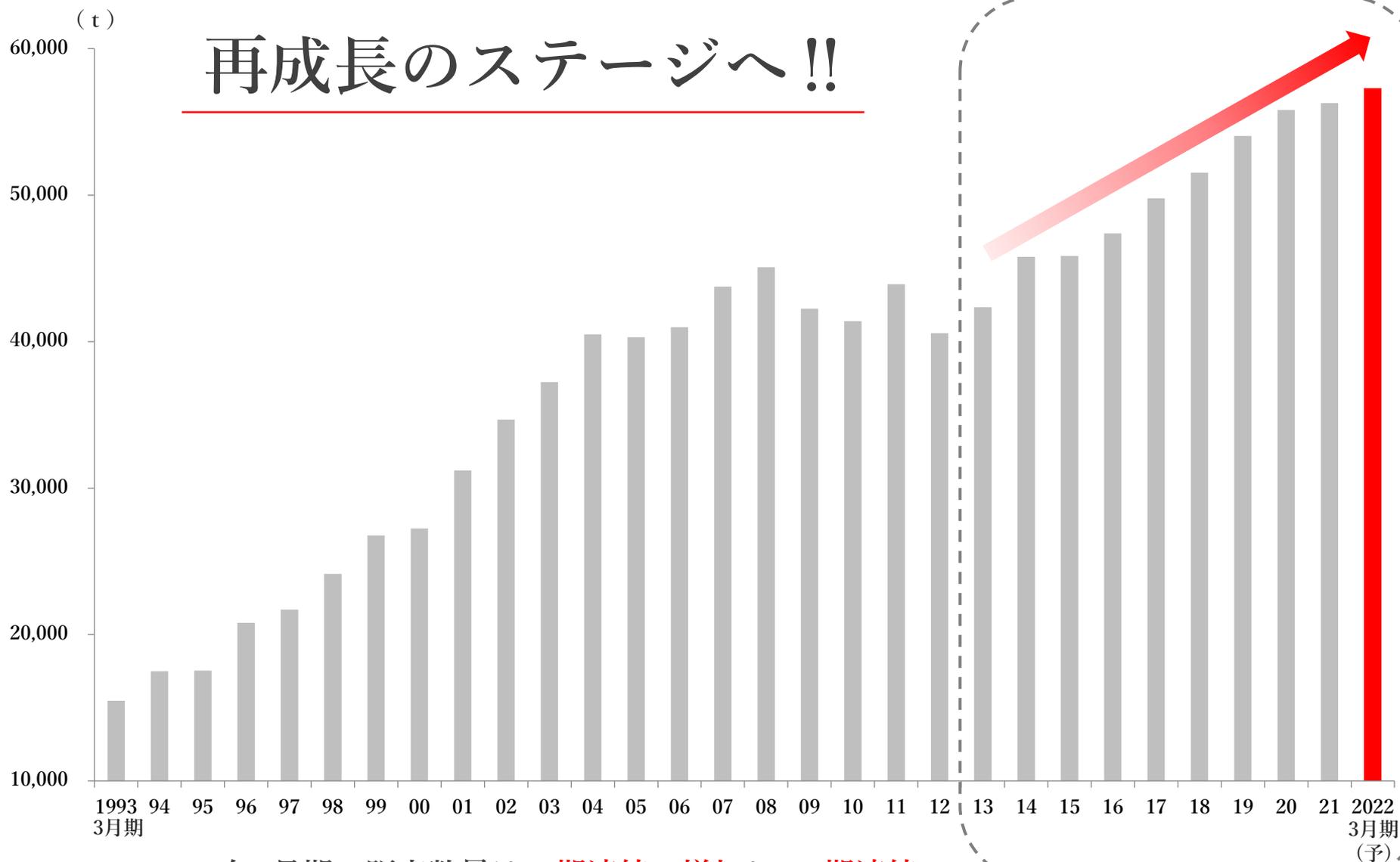
購買強化

- ・ 規格外卵の調達
- ・ 需給調整機能の発揮
- ・ 委託生産の活用
- ・ 仕入拠点の拡大
- ・ 輸入品の取り扱い

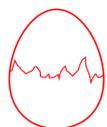
製造強化

- ・ 6 S 活動の徹底
(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・節約)
- ・ 自動化・省力化
- ・ 食品安全マネジメントシステムの導入
- ・ 個々のスキルアップ

再成長のステージへ!!



2022年3月期の販売数量は10期連続で増加し、9期連続で最高を更新を予想。



決算概要

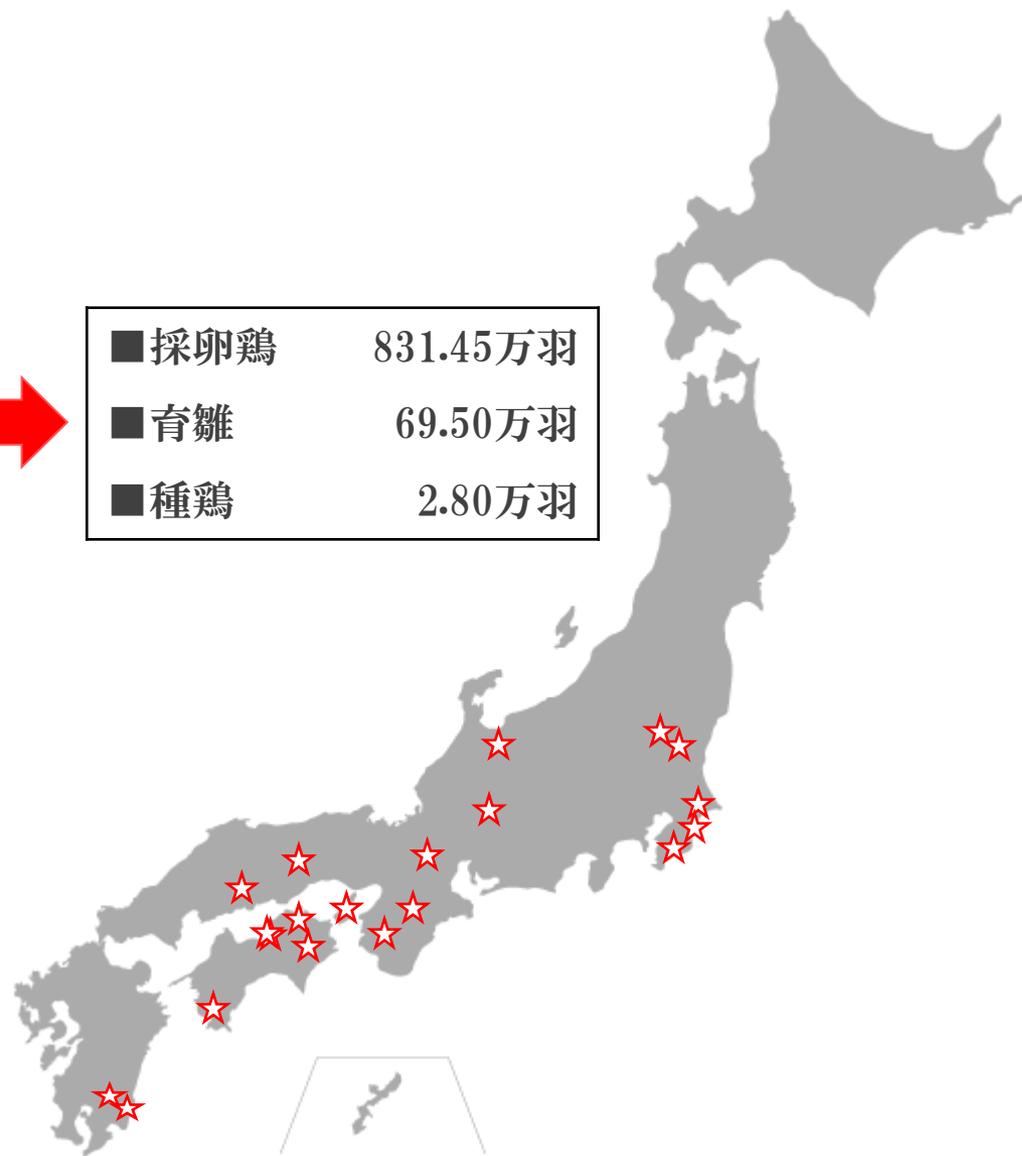
【参考資料】鳥インフルエンザ発生状況

■2020年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況(採卵鶏関連)

発生地	羽数 (単位:万羽)
千葉県	470.85
香川県	164.00
茨城県	84.00
岡山県	64.50
宮崎県	44.60
兵庫県	14.50
富山県	14.10
広島県	13.70
奈良県	7.70
栃木県	7.70
和歌山県	6.80
岐阜県	6.80
高知県	2.70
滋賀県	1.00
徳島県	0.80
合計	903.75



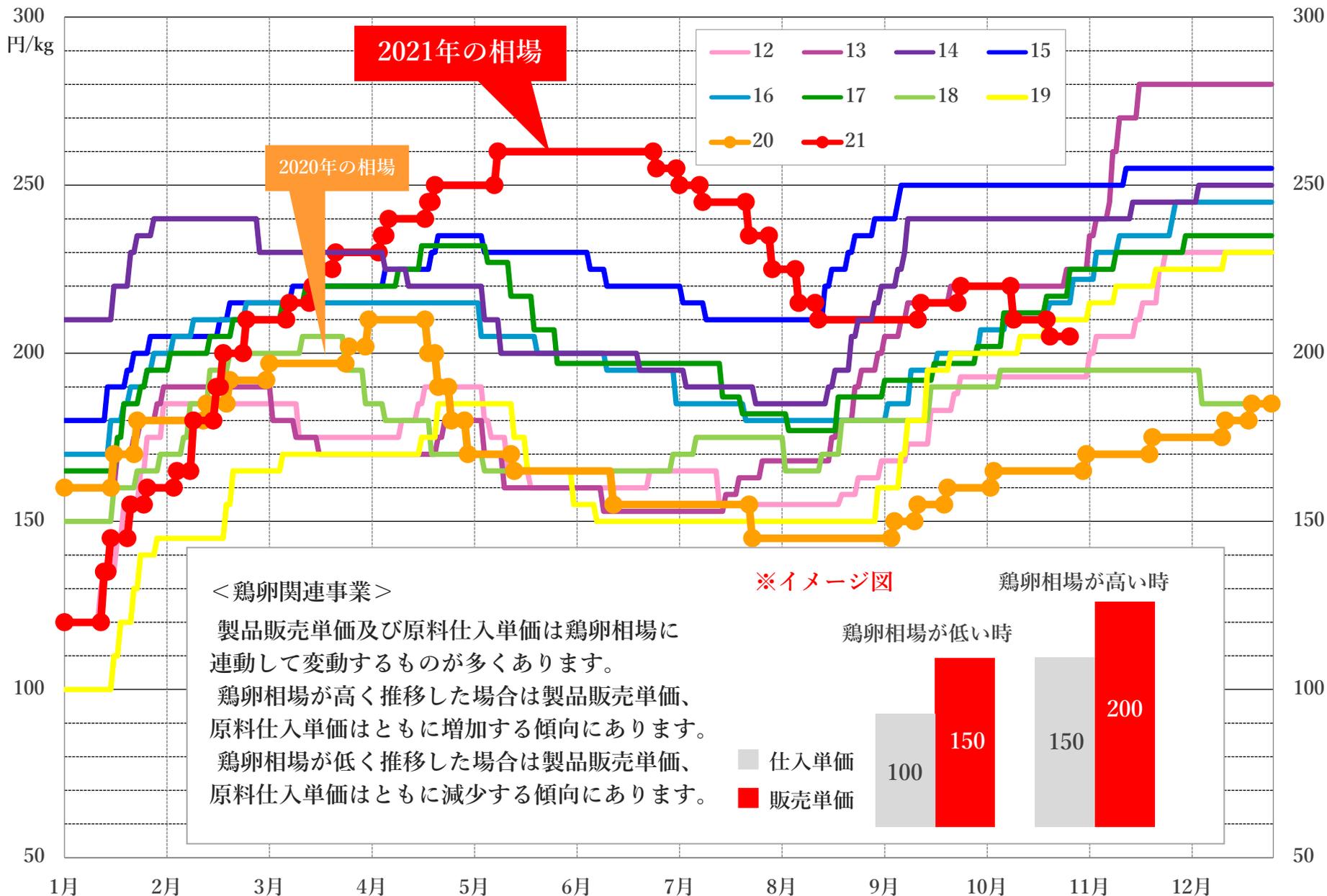
■採卵鶏	831.45万羽
■育雛	69.50万羽
■種鶏	2.80万羽



※農林水産省HP
「令和2年度 高病原性鳥インフルエンザ国内発生事例について」より

(2021年3月29日時点)

鶏卵相場の推移 (東京M基準値)



2022年3月期第2四半期決算の概要(連結)

■ 2022年3月期第2四半期 ※百万円未満切捨て

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前年 同期比	
販売数量(t) (鶏卵関連事業)	26,681	29,121	+9.1%	最高
売上高(百万円)	6,350	9,020	+42.0%	最高
営業利益(百万円)	494	658	+33.2%	最高
経常利益(百万円)	506	672	+32.8%	最高
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	359	534	+48.8%	最高

■ セグメント別業績 ※百万円未満切捨て

(単位：百万円 ※セグメント間売上含む)

	セグメント別 売上高		セグメント別 利益	
	2022年 3月期 第2四半期	対前期 増減率	2022年 3月期 第2四半期	対前期 増減率
鶏卵 関連事業	8,463	+45.9%	614	+32.7%
調味料 関連事業	588	+4.7%	34	+55.1%
その他 (太陽光発電事業)	14	±0.0%	10	+5.3%

■ 販 売

・ 鶏卵関連事業

【販売数量】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、外食向け等の需要は落ち込んだものの、新規顧客の獲得や菓子メーカーが販売を牽引し、販売数量は第2四半期において最高となる前期比+9.1%となった。

【売上高】

2020年11月から2021年3月にかけて大規模な鳥インフルエンザの発生より900万羽の鶏が殺処分された。それにより鶏卵の需給が逼迫。鶏卵相場は前年同期比45.9%上昇(全農東京M基準)。販売数量の増加と鶏卵相場に連動する分の販売単価への影響により前期比+42.0%となった。

・ 調味料関連事業

ふりかけ・スナック菓子メーカー等の既存への販売が増加し、売上高は+4.7%となった。

■ 損 益

・ 鶏卵関連事業

鶏卵相場が高騰したため仕入単価が大幅に上昇。一部製品の販売単価の改定を実施。販売数量の増加。工場の生産効率の向上や歩留まり向上により製造コストを削減。

・ 調味料関連事業

お客様と連携した在庫ロスの低減及び販売管理費及び一般管理費の削減。

連結の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも第2四半期における最高を更新。鶏卵関連事業の販売数量も最高を更新。

■ 要約連結貸借対照表

単位：百万円 (百万円未満切捨て)		2021年3月末	2021年9月末	増減額
	流動資産	6,221	6,700	+ 479
	現預金	2,966	2,749	▲217
	受取手形及び売掛金	2,223	2,401	+ 178
	棚卸資産	1,005	1,460	+ 454
	固定資産	4,817	4,797	▲20
	有形固定資産	4,662	4,581	▲80
	資産合計	11,038	11,497	+ 458
	流動負債	2,556	2,766	+ 209
	支払手形及び買掛金	672	706	+ 33
	短期借入金	1,002	1,024	+ 22
	固定負債	1,758	1,557	▲201
	長期借入金	1,158	965	▲192
	負債合計	4,315	4,323	+ 7
	純資産合計	6,723	7,173	+ 450
	負債純資産合計	11,038	11,497	+ 458
	自己資本比率	60.9%	62.4%	

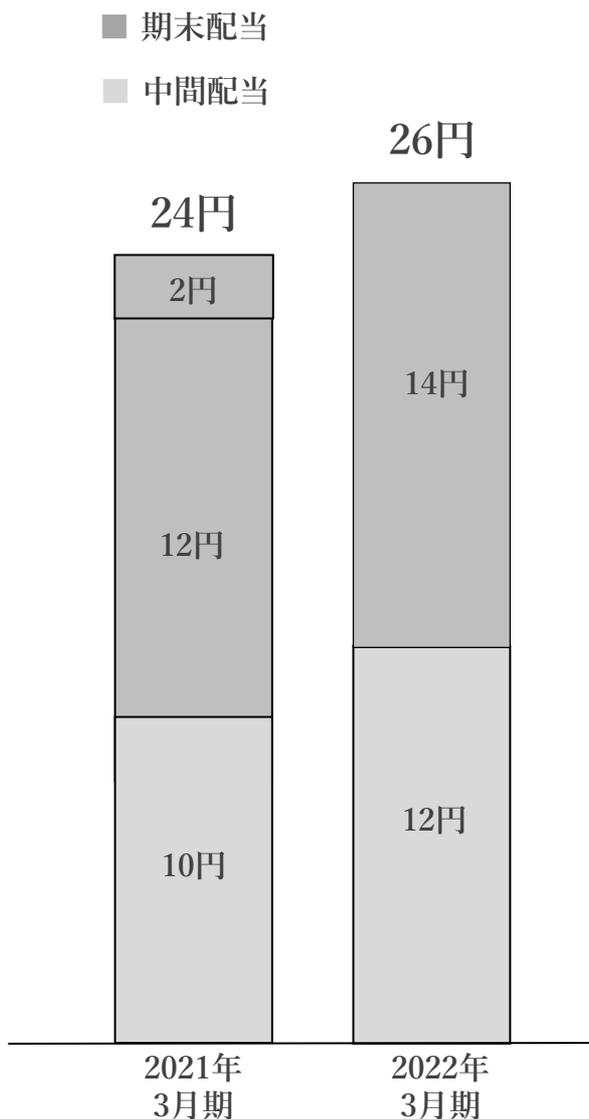
業績推移および業績見通し(連結)

※百万円未満切捨て

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期(予)
販売数量(t) 鶏卵関連事業	45,778	45,846	47,397	49,789	51,538	54,049	55,853	56,288	57,266
売上高(百万円)	12,650	13,130	14,478	14,248	14,396	13,711	14,312	13,825	16,344
営業利益(百万円)	337	517	642	663	693	806	928	1,184	1,205
経常利益(百万円)	365	531	665	681	710	828	951	1,210	1,222
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	※1 235	※2 388	434	533	555	552	614	830	831
1株当たり利益(円)	28.30	46.58	52.21	64.04	66.67	66.28	75.20	101.63	101.66
自己資本当期純利益率	6.3%	9.8%	10.2%	11.5%	10.9%	10.0%	10.5%	13.0%	—
1株当たり配当金 (円)	16	11	15	(記念配当17 1円を含む)	16	17	20	24	26
配当性向	56.5%	23.6%	28.7%	26.5%	24.0%	25.6%	26.5%	23.6%	25.6%
配当利回り	3.0%	2.0%	2.7%	1.9%	2.0%	2.4%	2.5%	2.5%	—
時価総額	4,297	4,514	4,473	7,435	6,501	5,858	6,576	7,827	—

- ・2014年3月期 ※1 鶏卵相場の急騰による割高な当用買いで材料費が増加。販売価格の改定を実施も追いつかず減益。
- ・2015年3月期以降 ※2 前年度下期から販売価格の改定や原料調達安定化に努め、収益の安定化を図る取り組みを開始。
- ・2018年3月期 販売数量は初めて50,000 t を突破。
- ・2021年3月期 販売数量は8期連続で最高を更新。営業利益、経常利益、当期純利益も最高益を更新。営業利益、経常利益は7期連続の増益。

2022年3月期(予)
鶏卵相場は前年より高く推移すると予想。販売数量、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は最高を見込む。



■ 配当方針

株主の皆様に対する利益還元策として、
連結ベースで配当性向25～30%を目標としております。

■ 2022年 3 月期の配当金

年間配当金は前期より2円増配となる26円を予想。

2022年 3 月期 中間配当 : 12円

2022年 3 月期 期末配当 : 14円 (予想)

※2021年3月12日に2021年3月期の期末配当を12円→14円へ、2円の増配を発表。

■全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を、毎年9月30日及び3月31日現在の株主様に対して以下の基準で贈呈いたします。



贈呈基準／優待内容

100株以上
1,000株未満

9月末日：300円分(100円×3枚)
3月末日：300円分(100円×3枚)

1,000株以上

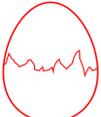
9月末日：1,200円分(100円×12枚)
3月末日：1,200円分(100円×12枚)

取り扱い店舗

全国の主な百貨店及びスーパー等で卵を購入の際ご利用できます。
(取り扱い店舗の詳細は「たまごギフト券」に同封する書類に記載)

有効期限

発行年度を含む3年度目の3月31日まで。
詳しくはたまごギフト券をご覧ください。

 トピックス

■2018年5月の関東事業部に続き、2021年7月に関西事業部にて食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC22000の認証を取得しました



▲ 関西事業部

お客様の安心・安全に対する関心はますます高くなっており、これからも食品安全に関する管理のレベルアップを行います。

より安心・安全な製品を製造し、サステナブル・サプライで日本の「食のインフラ」を支えてまいります。

※FSSC22000とは、国際食品安全イニシアチブ（GFSI）が承認した国際食品安全認証スキームで、食品安全マネジメントシステムの国際規格であるISO22000に、それを発展させたISO/TS22002-1の食品管理基準を追加した規格です。

- イフジ産業と日本化工食品のコーポレートサイトのリニューアルを実施しました。リニューアルによりスマホやタブレットからも閲覧しやすくなりました。



▲ イフジ産業HP <https://ifuji.co.jp/>



▲ 日本化工食品HP
<https://www.nihonkakosyokuhin.co.jp/>



REVOPRO

■卵白によるプロテイン

乳清由来の「ホエイプロテイン」と大豆由来の「ソイプロテイン」がほとんどを占める中、日本初となる卵白を用いたエッグホワイトプロテインを開発しました。

■アミノ酸スコア「100」

たんぱく質には、「必須アミノ酸」と「非必須アミノ酸」とがあり、摂食することでしか得られない必須アミノ酸の割合が多いほど「アミノ酸スコア」が上昇し、良質なたんぱく質とされます。REVOPRO®のアミノ酸スコアは最高の「100」となっています。

■乳糖不使用 —日本人の5人に1人は乳糖不耐症—

日本人の5人に1人は「乳糖不耐症」といわれており、ホエイ（乳清）プロテインを飲まれてお腹の調子がよくない方はこの乳糖不耐症の可能性がります。REVOPRO®は乳由来の成分を一切使用していません。

■人工甘味料不使用

年間12億個のタマゴを加工するイフジ産業の知見と日本化工食品の調味料製造で培ったプロの技術力によるコラボレーションにより、人工甘味料を一切使用せず、「安全」と「おいしさ」を実現。



■スプーン1杯(30g)で

タマゴ約7個分の卵白のたんぱく質

- ・たんぱく原料は「卵白」を100%使用
- ・100g 当たり76.3g の高たんぱく質配合
- ・体内利用率 *2 は97.5%と良質なたんぱく質とされるホエイの90.5%よりも優秀*3

*2 体内利用率・・・消化・吸収されて体内で利用される割合

*3 Matsuoka et al. The Scientific World Journal 2017

■トッププロや格闘家も愛飲



「乳糖不使用」「たんぱく体内利用率の高さ」などの特長により高い評価をいただいております、IFBB（国際ボディビルダーズ連盟）のプロ選手である竹本選手、MIHARU選手、KANEKIN選手やRISE第6代ライト級王者の原口選手とスポンサー契約を結んでおります。

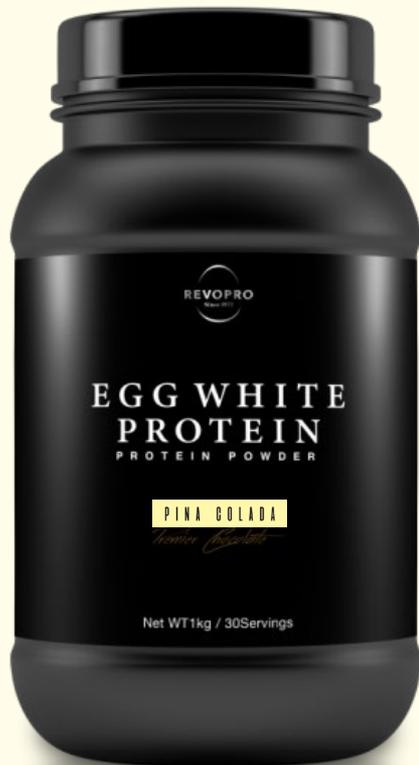


ご要望の多かったパウチタイプ包装の商品も発売中(内容量:1kg)

詳細はURLをご覧ください。

<https://revopro.jp/>





原 材 料 名：粉末卵白・デキストリン・
粉末油脂/乳化剤・甘味料
(ステビア)・酸味料・香料

アレルギー表示：一部に卵、大豆を含む

内 容 量：1kg

価 格：5,650円(税込)

※アルコールは含まれていません。

P I N A C O L A D A

イフジ産業株式会社が展開する、卵白由来のエッグホワイトプロテイン REVOPRO® は、2020年3月の発売以来、筋トレやダイエットに気を使う方々の間で大変ご好評をいただいておりますが、新フレーバー「ピニャコラーダ味」を10月22日に発売いたしました。

「ピニャコラーダ」はプエルトリコで生まれたパイナップル&ココナッツのカクテルドリンクです。そのフレーバーを取り入れ、ハイグレードでトロピカルな風味を実現しました。また、人工甘味料を用いず、自然な甘さにこだわりを持って作り上げました。



業績予想に関する事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、いずれも、資料作成時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものであります。

その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、万が一、この資料を利用した結果被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんのでご承知おきください。



イフジ産業株式会社

Liquid egg / Frozen egg / Egg White Protein